

事後調査の結果

調査項目 地盤沈下（工事の施行中）

予測した事項 ア. 切土工等又は既存の工作物の除去に係る地盤沈下

1. 予測した事項及び予測条件の状況

（1）調査事項

予測した事項の調査事項は、切土工等又は既存の工作物の除去に係る地盤沈下とした。また、予測条件の状況の調査事項は、切土工等又は既存の工作物の除去に係る工事の施工状況とした。

（2）調査地域

調査地域は、環境影響評価書における切土工等又は既存の工作物の除去に係る地盤沈下の予測地域のうち、01 品川駅及び02 目黒川変電所とした。

（3）調査手法

① 調査時点及び期間

調査時点及び期間は、切土工等又は既存の工作物の除去に係る地下工事の施工中（内壁構築まで）において、水準測量による継続的な計測（1回/月）を基本とし、表 7-1-1 の調査日に実施した。

表 7-1-1 調査日等

地点番号	区市名	所在地	計画施設	場所	調査日
01	港区	港南	地下駅	01-① (写真-1)	平成 31 年 4 月 16 日(火)、令和元年 5 月 13 日(月)、6 月 12 日(水)、 7 月 8 日(月)、8 月 7 日(水)、9 月 5 日(木)、10 月 9 日(水)、 11 月 14 日(木)、12 月 4 日(水)、令和 2 年 1 月 10 日(金)、2 月 6 日(木)、3 月 4 日(水)、4 月 16 日(木)、5 月 15 日(金)、6 月 9 日(火)、 7 月 1 日(水)、8 月 4 日(火)、9 月 3 日(木)、10 月 2 日(金)、11 月 9 日(月)、 12 月 8 日(火)、令和 3 年 1 月 11 日(月)、2 月 4 日(木)、3 月 16 日(火)
				01-② (写真-2)	平成 31 年 4 月 18 日(木)、令和元年 5 月 30 日(木)、6 月 22 日(土) 7 月 18 日(木)、8 月 31 日(土)、9 月 17 日(火)、10 月 21 日(月)、 11 月 30 日(土)、12 月 25 日(水)、令和 2 年 1 月 31 日(金)、2 月 29 日(土)、3 月 27 日(金)、4 月 14 日(火)、5 月 23 日(土)、6 月 24 日(水) 7 月 21 日(火)、8 月 21 日(金)、9 月 25 日(金)、10 月 27 日(火)、 11 月 13 日(金)、12 月 21 日(月)、令和 3 年 1 月 22 日(金)、2 月 22 日(月)、 3 月 15 日(月)
				01-③ (写真-3)	平成 31 年 4 月 19 日(金)、令和元年 5 月 20 日(月)、6 月 18 日(火)、 7 月 18 日(木)、8 月 21 日(水)、9 月 20 日(金)、10 月 17 日(木)、 11 月 18 日(月)、12 月 18 日(水)、令和 2 年 1 月 17 日(金)、2 月 18 日(火)、3 月 18 日(水)、4 月 13 日(月)、5 月 15 日(金)、6 月 10 日(水)、 7 月 16 日(木)、8 月 21 日(金)、9 月 16 日(水)、10 月 13 日(火)、 11 月 16 日(月)、12 月 15 日(火)、令和 3 年 1 月 15 日(金)、2 月 15 日(月)、 3 月 15 日(月)
02	品川区	北品川	変電所 ¹	02-① (写真-4)	平成 31 年 4 月 8 日(月)、令和元年 5 月 8 日(水)、6 月 8 日(土)、7 月 8 日(月)、 8 月 8 日(木)、9 月 9 日(月)、10 月 8 日(火)、11 月 8 日(金)、12 月 9 日(金)
				02-① [〃] (写真-5)	令和 2 年 1 月 6 日(月)、2 月 3 日(月)、3 月 4 日(水)、4 月 3 日(金)、5 月 7 日 (木)、6 月 2 日(火)、7 月 3 日(金)、8 月 3 日(月)、9 月 1 日(火)、10 月 1 日 (木)、11 月 4 日(水)、12 月 1 日(火)、令和 3 年 1 月 5 日(火)、2 月 2 日(火)、 3 月 1 日(月)
				02-② (写真-6)	平成 31 年 4 月 9 日(火)、令和元年 5 月 8 日(水)、6 月 8 日(土)、7 月 8 日(月)、 8 月 8 日(木)、9 月 9 日(月)、10 月 8 日(火)、11 月 8 日(金)、12 月 9 日(金)
				02-② [〃] (写真-7)	令和 2 年 1 月 6 日(月)、2 月 3 日(月)、3 月 4 日(水)、4 月 3 日(金)、5 月 7 日 (木)、6 月 2 日(火)、7 月 3 日(金)、8 月 3 日(月)、9 月 1 日(火)、10 月 1 日 (木)、11 月 4 日(水)、12 月 1 日(火)、令和 3 年 1 月 5 日(火)、2 月 2 日(火)、 3 月 1 日(月)

¹地点番号 02 (北品川) においては非常口を併設するため、非常口の工事の起因分を含む。



写真-1 調査地点 01-①



写真-2 調査地点 01-②



写真-3 調査地点 01-③



写真-4 調査地点 02-①



写真-5 調査地点 02-①



写真-6 調査地点 02-②



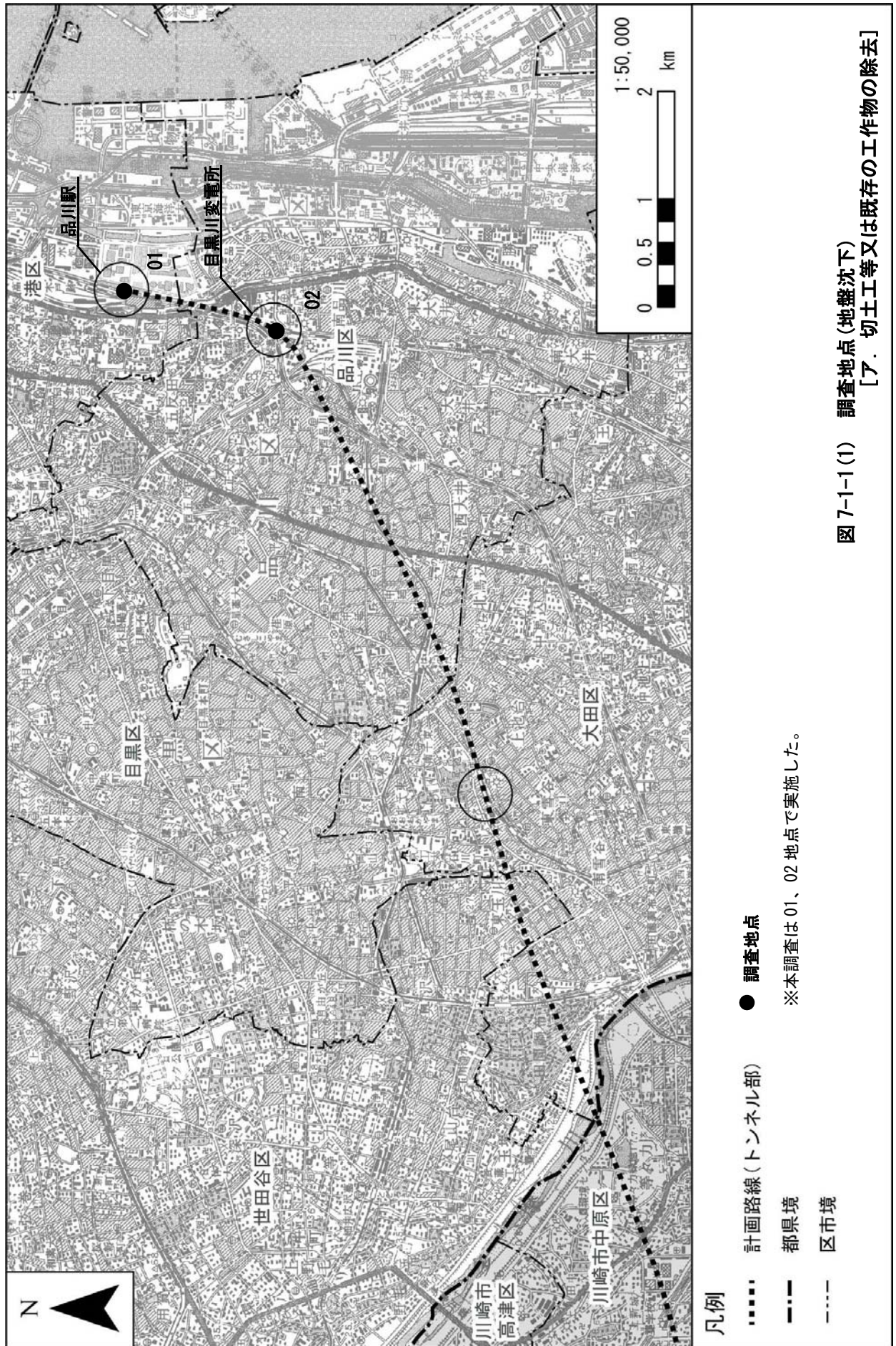
写真-7 調査地点 02-②

② 調査地点

予測した事項の調査地点は、環境影響評価書における切土工等又は既存の工作物の除去に係る地盤沈下のおそれがある地点とした。調査地点を図 7-1-1 に示す。また、予測条件の状況の調査地点は、図 7-1-1 における工事範囲内とした。

③ 調査方法

調査方法は、水準測量等による変位計測、現地確認及び工事関係等の資料の整理とした。



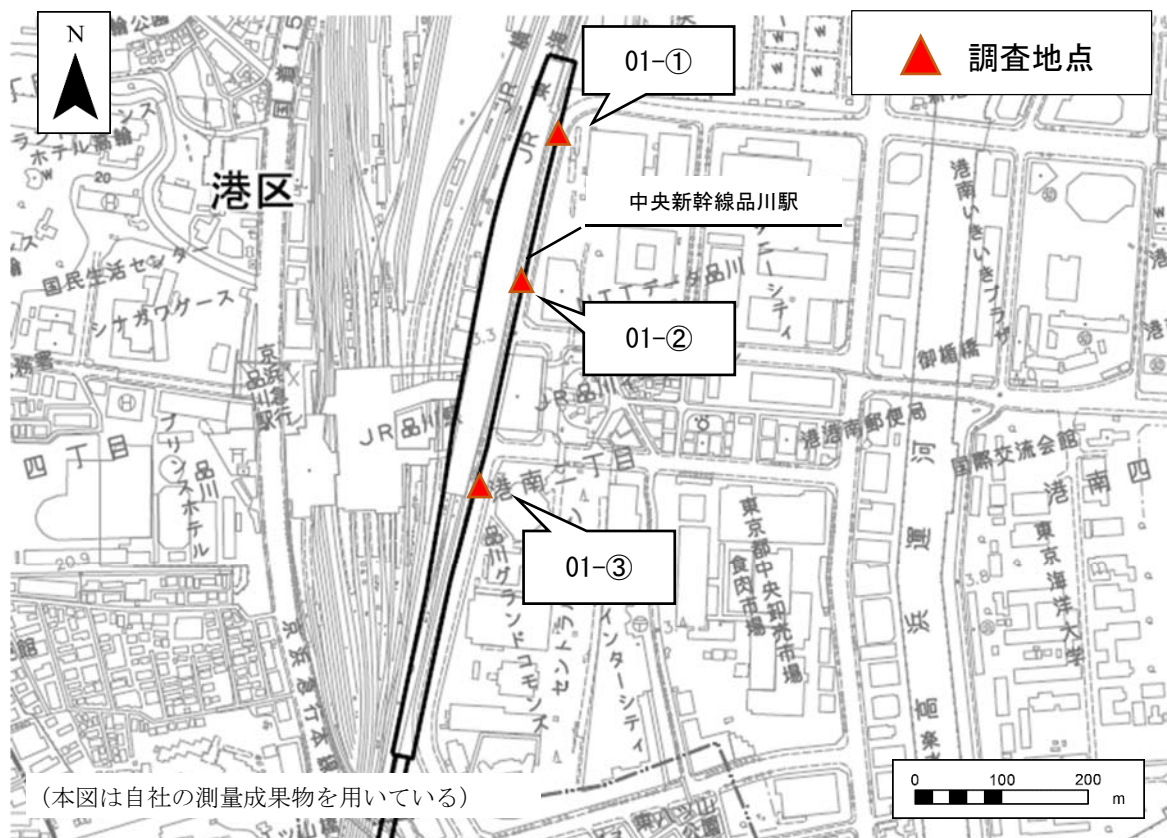


図 7-1-1 (2) 01 調査地点 (品川駅)

【調査地点の概要図】

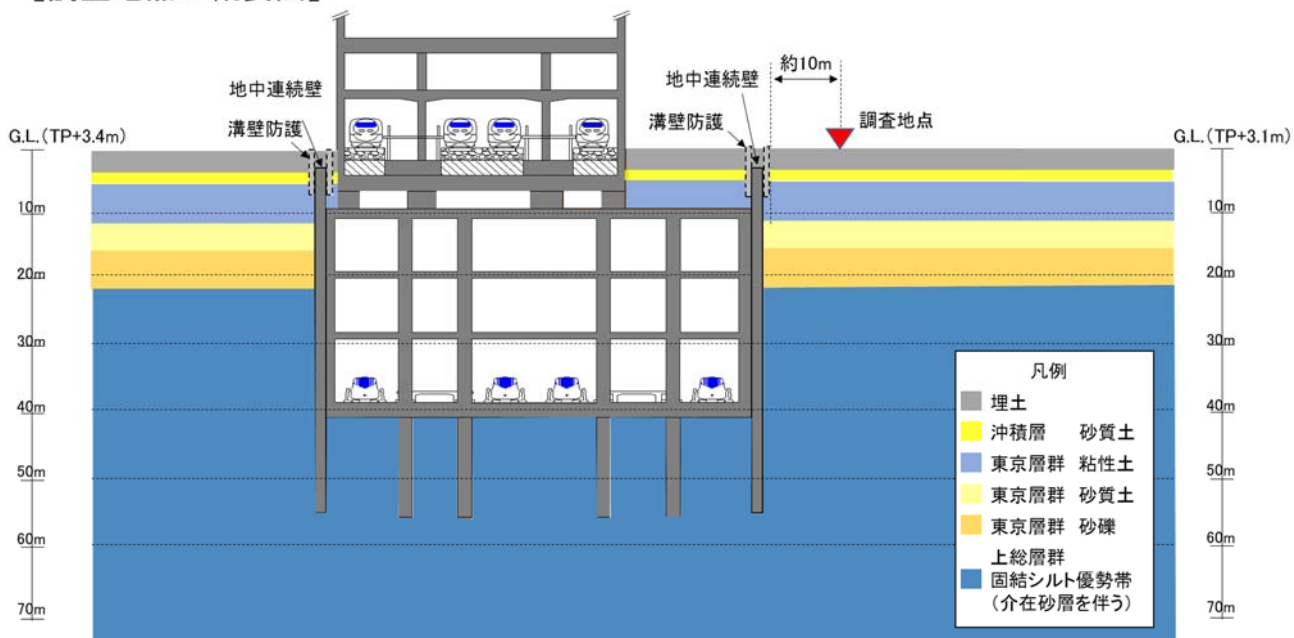
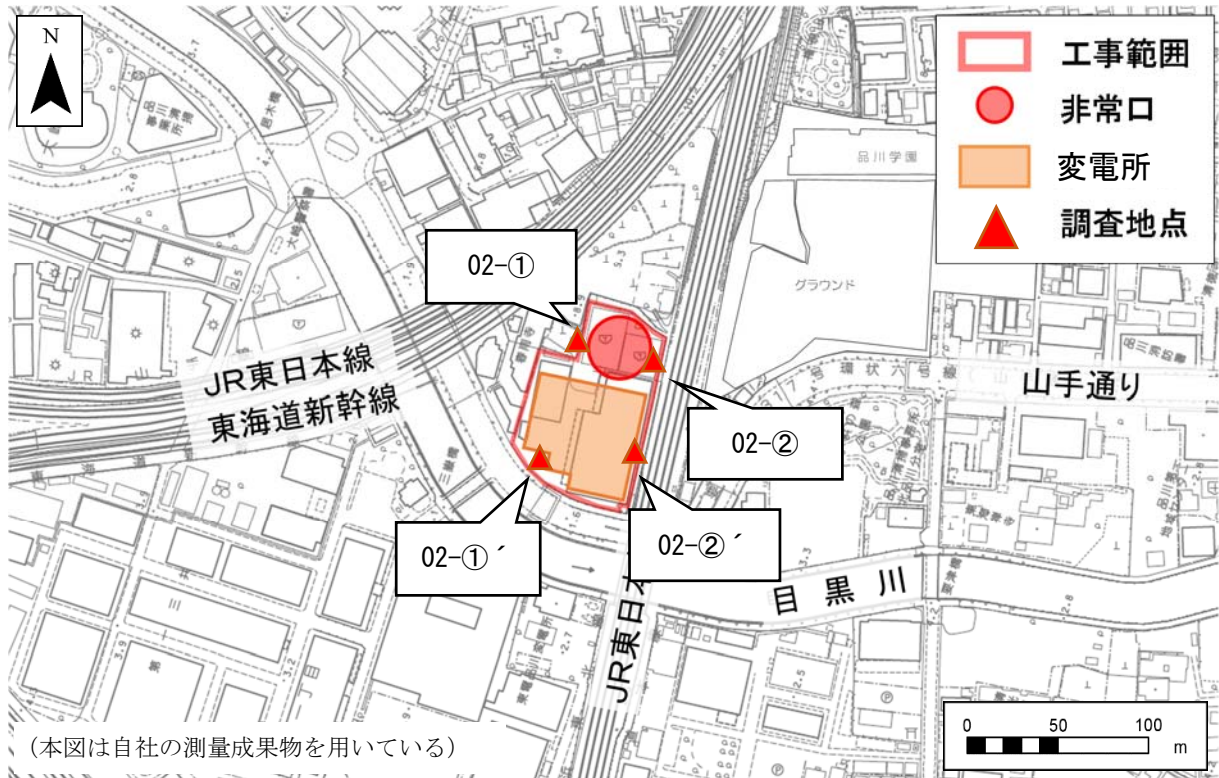


図 7-1-1 (3) 01 調査地点 (品川駅) 断面



注1 調査地点について、工事施工ヤードの整備に伴い、施工に支障しない位置に令和2年1月に測量標の移設を実施した。

図 7-1-1 (4) 02 調査地点 (目黒川変電所)

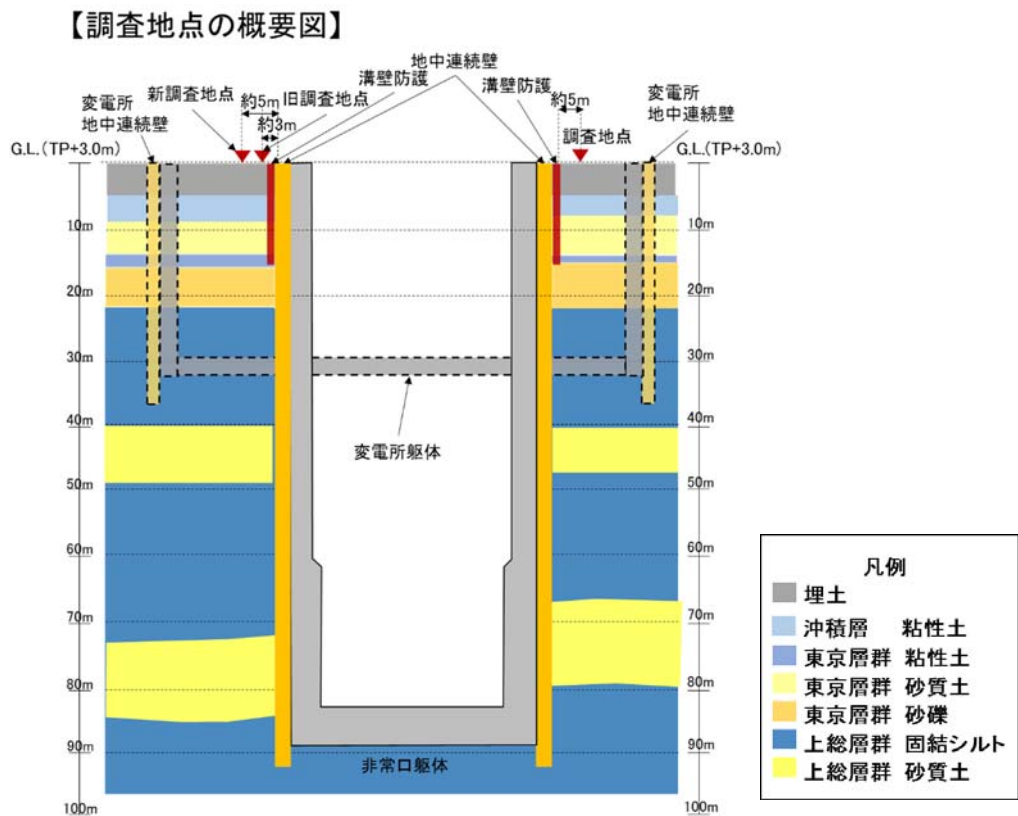


図 7-1-1 (5) 02 調査地点 (目黒川変電所) 断面

2. 環境保全措置の実施状況

(1) 調査事項

調査事項は、環境保全措置の実施状況とした。

(2) 調査地域

調査地域は、予測した事項及び予測条件の状況の調査と同様とした。

(3) 調査手法

① 調査時点及び期間

調査時点及び期間は、予測した事項及び予測条件の状況の調査期間中の適時とした。

② 調査地点

調査地点は、図 7-1-1(1)と同様とした。

③ 調査方法

調査方法は、現地確認及び工事関係等の資料の整理とした。

3. 調査結果

(1) 事後調査の結果の内容

① 予測した事項

地盤沈下の調査結果を、表 7-1-2 及び図 7-1-2 に示す。

各調査地点における、調査期間中の地盤高の最大変動量（最大値と最小値との差）は、品川駅の調査地点 01-①で 0.3 cm、01-②で 0.2 cm、01-③で 0.0 cm、目黒川変電所の調査地点 02-①で 0.2 cm、02-①´で 0.1 cm、02-②で 0.2 cm、02-②´で 0.1 cm であった。

各調査地点において、急激な地盤沈下を示すような著しい変化はない。

表 7-1-2(1) 地盤沈下の調査結果

地点 番号	区市名	所在地	計画施設	場所	調査日	標高 (T. P.) (m)	初期値との差 (cm)
01	港区	港南	地下駅	01-①	平成 29 年 1 月 31 日 (火)	2. 570	初期値
					平成 31 年 4 月 16 日 (火)	2. 566	-0. 4
					令和元年 5 月 13 日 (月)	2. 566	-0. 4
					令和元年 6 月 12 日 (水)	2. 565	-0. 5
					令和元年 7 月 8 日 (月)	2. 564	-0. 6
					令和元年 8 月 7 日 (水)	2. 565	-0. 5
					令和元年 9 月 5 日 (木)	2. 564	-0. 6
					令和元年 10 月 9 日 (水)	2. 564	-0. 6
					令和元年 11 月 14 日 (木)	2. 565	-0. 5
					令和元年 12 月 4 日 (水)	2. 564	-0. 6
					令和 2 年 1 月 10 日 (金)	2. 565	-0. 5
					令和 2 年 2 月 6 日 (木)	2. 566	-0. 4
					令和 2 年 3 月 4 日 (水)	2. 565	-0. 5
					令和 2 年 4 月 16 日 (木)	2. 566	-0. 4
					令和 2 年 5 月 15 日 (金)	2. 567	-0. 3
					令和 2 年 6 月 9 日 (火)	2. 566	-0. 4
					令和 2 年 7 月 1 日 (水)	2. 566	-0. 4
					令和 2 年 8 月 4 日 (火)	2. 567	-0. 3
					令和 2 年 9 月 3 日 (木)	2. 565	-0. 5
					令和 2 年 10 月 2 日 (金)	2. 565	-0. 5
				令和 2 年 11 月 9 日 (月)	2. 565	-0. 5	
				令和 2 年 12 月 8 日 (火)	2. 565	-0. 5	
				令和 3 年 1 月 11 日 (月)	2. 565	-0. 5	
				令和 3 年 2 月 4 日 (木)	2. 567	-0. 3	
				令和 3 年 3 月 16 日 (火)	2. 564	-0. 6	
				01-②	平成 29 年 1 月 31 日 (火)	3. 311	初期値
					平成 31 年 4 月 18 日 (木)	3. 310	-0. 1
					令和元年 5 月 30 日 (木)	3. 310	-0. 1
					令和元年 6 月 22 日 (土)	3. 310	-0. 1
令和元年 7 月 18 日 (木)	3. 310	-0. 1					
令和元年 8 月 31 日 (土)	3. 310	-0. 1					
令和元年 9 月 17 日 (火)	3. 310	-0. 1					
令和元年 10 月 21 日 (月)	3. 310	-0. 1					
令和元年 11 月 30 日 (土)	3. 310	-0. 1					

表 7-1-2(2) 地盤沈下の調査結果

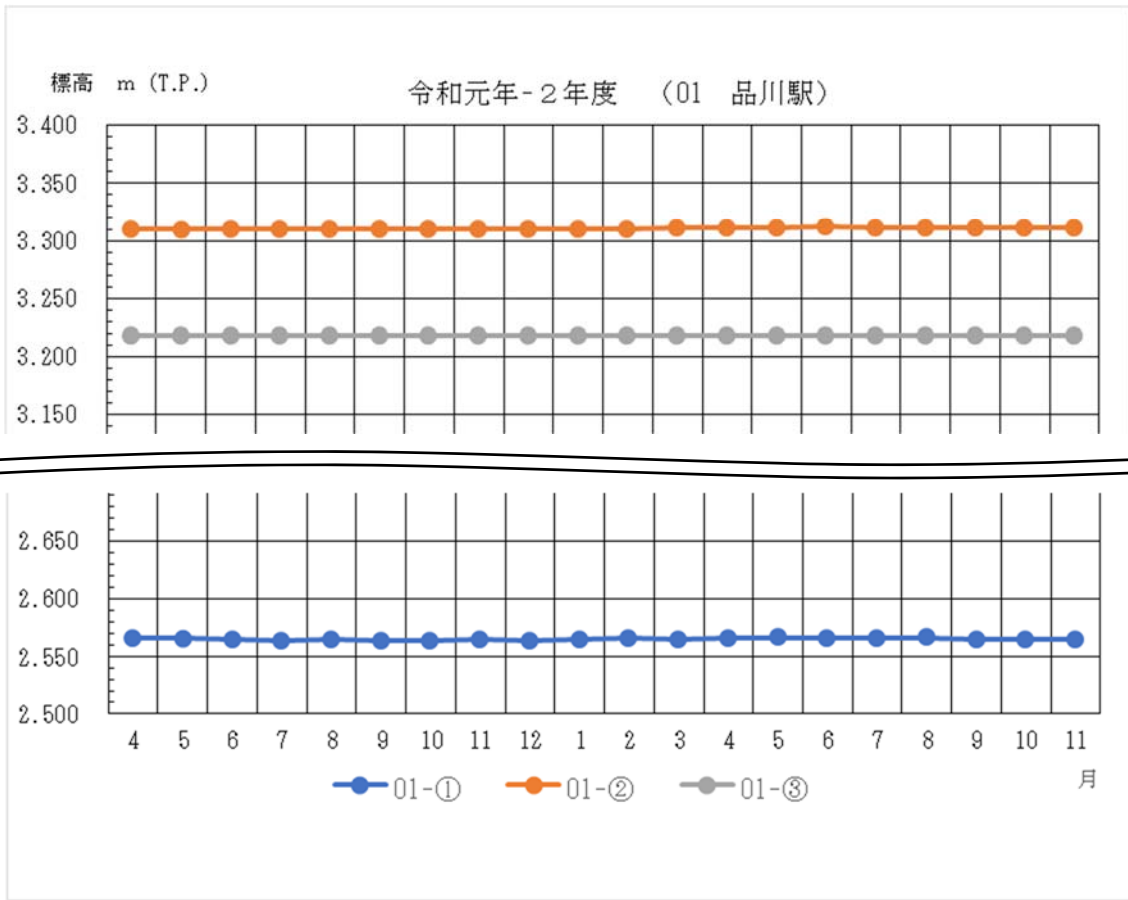
地点 番号	区市名	所在地	計画施設	場所	調査日	標高 (T. P.) (m)	初期値との差 (cm)
					令和元年 12 月 25 日(水)	3. 310	-0. 1
					令和 2 年 1 月 31 日(金)	3. 310	-0. 1
					令和 2 年 2 月 29 日(土)	3. 310	-0. 1
					令和 2 年 3 月 27 日(金)	3. 311	±0. 0
					令和 2 年 4 月 14 日(火)	3. 311	±0. 0
					令和 2 年 5 月 23 日(土)	3. 311	±0. 0
					令和 2 年 6 月 24 日(水)	3. 312	+0. 1
					令和 2 年 7 月 21 日(火)	3. 311	±0. 0
					令和 2 年 8 月 21 日(金)	3. 311	±0. 0
					令和 2 年 9 月 25 日(金)	3. 311	±0. 0
					令和 2 年 10 月 27 日(火)	3. 311	±0. 0
					令和 2 年 11 月 13 日(金)	3. 311	±0. 0
					令和 2 年 12 月 21 日(月)	3. 311	±0. 0
					令和 3 年 1 月 22 日(金)	3. 311	±0. 0
					令和 3 年 2 月 22 日(月)	3. 310	-0. 1
					令和 3 年 3 月 15 日(月)	3. 310	-0. 1
				01-③	平成 29 年 1 月 31 日(火)	3. 215	初期値
					平成 31 年 4 月 19 日(金)	3. 218	+0. 3
					令和元年 5 月 20 日(月)	3. 218	+0. 3
					令和元年 6 月 18 日(火)	3. 218	+0. 3
					令和元年 7 月 18 日(木)	3. 218	+0. 3
					令和元年 8 月 21 日(水)	3. 218	+0. 3
					令和元年 9 月 20 日(金)	3. 218	+0. 3
					令和元年 10 月 17 日(木)	3. 218	+0. 3
					令和元年 11 月 18 日(月)	3. 218	+0. 3
					令和元年 12 月 18 日(水)	3. 218	+0. 3
					令和 2 年 1 月 17 日(金)	3. 218	+0. 3
					令和 2 年 2 月 18 日(火)	3. 218	+0. 3
					令和 2 年 3 月 18 日(水)	3. 218	+0. 3
					令和 2 年 4 月 13 日(月)	3. 218	+0. 3
令和 2 年 5 月 15 日(金)	3. 218	+0. 3					
令和 2 年 6 月 10 日(水)	3. 218	+0. 3					
令和 2 年 7 月 16 日(木)	3. 218	+0. 3					
令和 2 年 8 月 21 日(金)	3. 218	+0. 3					

表 7-1-2(3) 地盤沈下の調査結果

地点番号	区市名	所在地	計画施設	場所	調査日	標高 (T. P.) (m)	初期値との差 (cm)
					令和2年9月16日(水)	3.218	+0.3
					令和2年10月13日(火)	3.218	+0.3
					令和2年11月16日(月)	3.218	+0.3
					令和2年12月15日(火)	3.218	+0.3
					令和3年1月15日(金)	3.218	+0.3
					令和3年2月15日(月)	3.218	+0.3
					令和3年3月15日(月)	3.218	+0.3
02	品川区	北品川	変電所	02-①	平成28年11月8日(火)	4.202	初期値
					平成31年4月8日(月)	4.200	-0.2
					令和元年5月8日(水)	4.201	-0.1
					令和元年6月8日(土)	4.202	±0.0
					令和元年7月8日(月)	4.201	-0.1
					令和元年8月8日(木)	4.201	-0.1
					令和元年9月9日(月)	4.201	-0.1
					令和元年10月8日(火)	4.202	±0.0
					令和元年11月8日(金)	4.201	-0.1
					令和元年12月9日(金)	4.201	-0.1
				02-①	令和2年1月6日(月)	2.743	初期値
					令和2年2月3日(月)	2.743	±0.0
					令和2年3月4日(水)	2.744	+0.1
					令和2年4月3日(金)	2.744	+0.1
					令和2年5月7日(木)	2.744	+0.1
					令和2年6月2日(火)	2.744	+0.1
					令和2年7月3日(金)	2.744	+0.1
					令和2年8月3日(月)	2.744	+0.1
					令和2年9月1日(火)	2.743	±0.0
					令和2年10月1日(木)	2.744	+0.1
					令和2年11月4日(水)	2.744	+0.1
					令和2年12月1日(火)	2.744	+0.1
					令和3年1月5日(火)	2.744	+0.1
					令和3年2月2日(火)	2.744	+0.1
					令和3年3月1日(月)	2.744	+0.1
					02-②	平成28年11月8日(火)	4.270
				平成31年4月9日(火)		4.273	+0.3

表 7-1-2(4) 地盤沈下の調査結果

地点 番号	区市名	所在地	計画施設	場所	調査日	標高 (T. P.) (m)	初期値との差 (cm)
					令和元年 5 月 8 日 (水)	4.274	+0.4
					令和元年 6 月 8 日 (土)	4.273	+0.3
					令和元年 7 月 8 日 (月)	4.273	+0.3
					令和元年 8 月 8 日 (木)	4.273	+0.3
					令和元年 9 月 9 日 (月)	4.273	+0.3
					令和元年 10 月 8 日 (火)	4.273	+0.3
					令和元年 11 月 8 日 (金)	4.272	+0.2
					令和元年 12 月 9 日 (金)	4.272	+0.2
				02-②	令和 2 年 1 月 6 日 (月)	3.015	初期値
					令和 2 年 2 月 3 日 (月)	3.015	±0.0
					令和 2 年 3 月 4 日 (水)	3.015	±0.0
					令和 2 年 4 月 3 日 (金)	3.015	±0.0
					令和 2 年 5 月 7 日 (木)	3.015	±0.0
					令和 2 年 6 月 2 日 (火)	3.015	±0.0
					令和 2 年 7 月 3 日 (金)	3.015	±0.0
					令和 2 年 8 月 3 日 (月)	3.015	±0.0
					令和 2 年 9 月 1 日 (火)	3.014	-0.1
					令和 2 年 10 月 1 日 (木)	3.015	±0.0
					令和 2 年 11 月 4 日 (水)	3.015	±0.0
					令和 2 年 12 月 1 日 (火)	3.015	±0.0
令和 3 年 1 月 5 日 (火)	3.015	±0.0					
令和 3 年 2 月 2 日 (火)	3.015	±0.0					
令和 3 年 3 月 1 日 (月)	3.015	±0.0					



工種	令和元年度												令和2年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
掘削・支保工の準備工 (地中連続壁工) 等																								

※別紙 5-1-12 の工程表を再掲

図 7-1-2(1) 地盤沈下の調査結果 (品川駅)

② 予測条件の状況

工事の施工状況を、表 7-1-3 に示す。

表 7-1-3 工事の施工状況

地点番号	区市名	所在地	計画施設	調査期間	施工状況
01	港区	港南	地下駅	平成 31 年 4 月～ 令和 3 年 3 月	掘削・支保工の準備工 (地中連続壁工) 等
02	品川区	北品川	変電所 ²	平成 31 年 4 月～ 令和 3 年 3 月	上床版構築工 掘削工 地下躯体構築工 等

③ 環境保全措置の実施状況

工事の施行中の環境保全措置の実施状況を、表 7-1-4 に示す。

なお、平成 31 年 4 月から令和 3 年 3 月までの間、地盤沈下に関する意見等はなかった。

表 7-1-4 環境保全措置の実施状況

環境保全措置	実施状況
止水性の高い山留め工法等の採用	【全地点】止水性の高い地中連続壁工法の採用により、漏水の発生を抑えることで、地盤沈下を誘発するような地下水の水位への影響を低減することに努めた。
地下水の継続的な監視	【全地点】観測井を設置し、工事着手前からのモニタリングとして、地下水の継続的な観測を行い、地下水の変動に伴う地盤の変化による周辺環境に与える影響を低減することに努めた。(写真-1)
地質の状況等に応じた山留め工法等の採用	【全地点】地質の状況等に応じた剛性の高い地中連続壁工法の採用により、地山の安定を確保することで、地盤への影響を低減することに努めた。
山留め材及び周辺地盤の計測管理	【全地点】周辺地盤の計測管理を行い、地盤に有害な変形が生じて周辺環境に影響を与える前に対策できるように準備を講じた。(写真-2)

²地点番号 02 (北品川) においては非常口を併設するため、非常口の工事内容を含む。

	
<p>写真-1-1 地下水の監視状況（地点 01）</p>	<p>写真-1-2 地下水の監視状況（地点 02）</p>
	
<p>写真-2-1 山留め材及び周辺地盤の計測管理状況（地点 01）</p>	<p>写真-2-2 山留め材及び周辺地盤の計測管理状況（地点 02）</p>

(2) 環境影響評価書の予測結果と事後調査の結果との比較検討

工事の施工にあたっては、環境保全措置として「止水性の高い山留め工法等の採用」、「地下水の継続的な監視」、「地質の状況等に応じた山留め工法等の採用」及び「山留め材及び周辺地盤の計測管理」を実施し、工事の実施に伴う地盤沈下に係る環境影響の低減に努めた。

調査の結果より、品川駅及び目黒川変電所ともに、計測期間を通じて地盤高さは安定しており、急激な地盤沈下を示すような著しい変化は認められなかった。

以上より、予測結果のとおり、切土工等又は既存の工作物の除去に係る地盤沈下の影響は小さかったものと考えられる。